

1. 件名：OECD／NEA FACEプロジェクト第2回会合関係者打合せ
2. 日時：令和5年2月3日（金）10時00分～12時00分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室

4. 出席者

原子力規制庁

森下長官官房審議官、安井長官官房原子力規制特別国際交渉官

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

岩永企画調査官、安部室長補佐、小西係長

技術基盤グループ シビアアクシデント研究部門

阿部総括技術研究調査官、栃尾主任技術研究調査官（テレビ会議による出席）

経済産業省

湯本大臣官房福島復興推進グループ原子力事故災害対処審議官

経済産業省資源エネルギー庁

電力・ガス事業部

堤企画官 他3名

日本原子力研究開発機構 安全研究・防災支援部門副部門長 他2名（テレビ会議による出席）

原子力損害賠償・廃炉等支援機構 4名（テレビ会議による出席）

電力中央研究所 1名（テレビ会議による出席）

エネルギー総合工学研究所 2名（テレビ会議による出席）

5. 要旨

- (1) 原子力規制庁より、2月8日～10日に東京で開催されるOECD／NEA FACEプロジェクト第2回会合について、マネジメントボード会議（運営会議）での予想される議論及びここに至る背景等の情報共有を行った。
- (2) 同プロジェクトのオペレーティングエージェンシー（執行機関）である日本原子力研究開発機構より、プログラムレビューグループ会議の議事進行及び研究テーマごとの参加機関について説明があった。
- (3) 資源エネルギー庁より、同プロジェクトに係る輸出貿易管理を含む必要な手続きが滞りなく行われるようフォローする旨の発言があった。

6. 資料

- ・資料1 FACEプロジェクト第2回会合議事次第
- ・資料2 FACEプロジェクト研究テーマごとの参加機関

以上